

# 女性会計士ネットワーク研修会のご報告

## 「公認会計士が知っておくべき DE&I の現在地」を視聴して

北陸会会員 古谷 まゆみ

2024年12月13日(金)に、ホテル日航金沢において、女性会計士ネットワーク研修会として標記研修会が開催されました。



女性会計士ネットワーク研修会という名称であることから、過去は女性しか参加していない研修会が多かったようですが、今回はDE&I(ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン)を題材にしていることから、日本公認会計士協会DE&I担当常務理事である古谷大二郎先生が参加してくださり、女性会員7名と2024年9月6日に開催されたDE&I研修会の映像を視聴し、意見交換を行いました。

これを読んでいる皆さんはご存じのことかと思いますが、私のDE&Iに関する知識は「多様性を認め合うこと」くらいだったので、ここでは、今回の研修会で学んだことをお伝えしたいと思います。まずD&Iとは、多様な人材が違い(性別、年齢、国籍、宗教、文化、障害など)を理解し、活かすことが基本的な考え方であること。DE&IのEは公平性を指しており、公平は平等とは異なり、各人の状況に配慮することで、不平等かもしれないが、平等に機会を与えることであると学びました。公平性の説明に際し、大人と子供が木になっているりんごを取ろうとする絵で表現されており、子供は台に乗ってりんごに手が届くようになり、「りんごを取る」という機会を平等に与えられていることが表現されていて、とても分かりやすかったです。



また、DE&Iの現在地について、「ダイバーシティへの理解度」と「組織への帰属意識」の2軸を

用いた4象限で説明されており、日本企業は「差別化(多様な価値観は認められているが、特別扱いや違う意見や行動が求められる)」「同化(多様な価値観が認められておらず、他の人と同じ意見行動をすることで受け入れられている)」に分類されている組織がほとんどで、目指すところは「インクルージョン(多様な価値観が認められ、個々人が本来の力を発揮できている)」であることが紹介されました。「差別化」や「同化」という現状を残念がるのではなく、将来の伸びしろがあると考えよう!と明るく説明されていたのも印象的でした。



研修視聴後の意見交換会では、皆さんが感じている課題などを話し合い、有意義な会となりました。今後多くの方と意見交換できればと思いますので、今回は参加できなかった「HOKURIKU C.P.A. NEWS」をお読みの皆様と、いつか研修会でお会いできるのを楽しみにしています。

